

5/9 縄文文化に慣れ親しむ 縄文あそびフェスタ

町が縄文あそびフェスタ in とうや湖を開催しました。「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されてから、5周年を迎えたことを記念して実施。当日は、子どもから大人まで約60人が参加し、勾玉や土ぐう作りなどを体験し縄文文化に慣れ親しみました。これと併せてエネルギーものの作り教室も開催し、太陽光パネルを使ったランタンを作製。太陽光発電の仕組みや特徴について学びました。



土ぐうを作る参加者

4/27 木に親しみを 幼稚園に木製イス寄贈

町は、国が自治体に交付している森林環境譲与税を活用して作った木製イスをとうやこ幼稚園（小倉克彦園長）に寄贈しました。町では、令和4年度から本事業を活用した木育に取り組み、昨年度は町内保育所に椅子40脚を寄贈、今回は20脚を寄贈しました。

下道町長から椅子を受け取った子どもたちは椅子に座り「座りやすく、背中が気持ちよかったです」と笑顔を見せていました。



椅子を受け取る園児たち

5/15 湖で元気に育ってね 洞爺湖温泉小が稚魚放流

洞爺湖温泉小学校（荒木美由紀校長）の1・2年生の児童7人がヒメマスやヤマメの稚魚を洞爺湖に放流しました。洞爺湖漁業協同組合が毎年放流を行っている、資源保護や自然にふれあうことを目的に放流体験をしています。今年は、ヒメマスやヤマメのほかにワカサギやスジエビも放流しました。

児童たちは「大きくなってね」「元気に戻って来てね」と声をかけて、泳ぎ始めた稚魚を見送りました。



ヒメマスの稚魚を放流する児童

5/15 洞爺湖の環境を守るため 生物多様性保全協議会総会

洞爺湖生物多様性保全協議会（室田欣弘会長）の総会が開催されました。総会に先立ち、室田会長が「洞爺湖に生息するウチダザリガニなどの特定外来種を効率的に防除し、希少種の保護、自然環境の改善により洞爺湖の環境保全に務めていきます」とあいさつしました。

総会では、令和7年度事業報告および収支決算、令和8年度事業計画案や収支予算案などについて審議が行われ、議案は全て承認されました。



議案について審議を行った総会

5/21

地元の観光を考える 虻田高観光ガイド実習

虻田高校（佐々木雅治校長）の観光ガイド実習が行われ、3年生12人が洞爺湖で遊覧船に乗り、地元観光について理解を深めました。

中島・湖の森博物館で洞爺湖と中島の自然やジオパークについて学習。今秋予定する町内の小中学生を対象にした観光ガイドに向け、解説の内容などを確認しました。同校では、3年間にわたって地域学習として地元観光を学んでいます。活動内容はホームページで閲覧できます。



虻高生の観光ガイド実習

5/20

地域の農業に理解を深める とうや小が田植え体験

とうや小学校（洲崎陽一校長）の5年生7人が財田地区にある塩田満さんの水田で田植え体験を行いました。

田植え体験を通じて、児童が地域農業に理解を深めるとともに、地域の農産物に対する興味・関心を高めることを目的に実施しています。

裸足で水田に入り1株ずつていねいに苗を植えました。体験した児童は「列が曲がらないように植えるのが難しかったけど楽しかったです」と話しました。



田植え体験を行う児童

6/3

消防団の活動に貢献 荒さんに叙勲を伝達

西胆振行政事務組合洞爺湖消防団（現・洞爺湖消防団）に入団。2000年の有珠山噴火では住民の避難誘導を行い、17年に副団長に就いてからも団の発展に尽力しました。下道町長から勲記などを受け取った荒さんは「家族の支えで続けてこれました」と感謝していました。



勲記を受け取る荒さん

5/30

脱炭素に向けた取組み 令和8年度町民植樹祭

町が令和8年度町民植樹祭を開催しました。

町は令和5年1月に「ゼロカーボン宣言」を行ったことに伴って、二酸化炭素削減に向けた取組みの一つとして、令和5年度から森林環境譲与税を活用し植樹を実施しています。

当日は、町民など約40人が参加。町有地に600本のトドマツの苗木を植え付け、未来の森林づくりに汗を流しました。



植樹を行った参加者